



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社エスユーエス 上場取引所 東
 コード番号 6554 URL <https://www.sus-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 公男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 浅田 剛史 (TEL) 075-229-7400
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	4,658	1.7	98	△71.0	379	11.2	254	16.9
2020年9月期第2四半期	4,578	17.2	340	8.4	340	5.9	217	9.7

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 240百万円(12.8%) 2020年9月期第2四半期 213百万円(7.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	28.90	27.60
2020年9月期第2四半期	24.85	23.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	4,005	2,652	64.5
2020年9月期	3,978	2,472	60.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 2,583百万円 2020年9月期 2,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,745	8.7	3	△98.5	251	△38.7	160	△40.7	18.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	8,812,400株	2020年9月期	8,784,400株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	184株	2020年9月期	184株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	8,808,549株	2020年9月期2Q	8,764,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に対する各種政策効果により、企業活動や経済活動に持ち直しの動きが見られましたが、国内外の感染者数が再度増加傾向にあるなど、依然として先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような中、当社の技術者派遣事業においては、IT分野、機械分野、電気・電子分野で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、稼働率が低下しました。一方で、コンサルティング事業においては、増収となりました。また、採用広告費等を中心に販売費及び一般管理費は抑制いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,658,543千円（対前年同期比1.7%増）、営業利益98,676千円（対前年同期比71.0%減）、経常利益は雇用調整助成金の受給に伴い営業外収益が増加し379,015千円（対前年同期比11.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益254,547千円（対前年同期比16.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 技術者派遣事業

技術者派遣は、在籍技術者数が前年同期比で増加したことに加え、IT分野及び成長産業分野への取り組み強化により、派遣単価の向上にも努めてまいりました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により技術者派遣需要が停滞傾向の中、2020年4月入社の新卒技術社員及び既存技術社員の一部に契約獲得の遅れが生じており、稼働率は前年同期より低い水準で推移しましたが、期初から改善傾向にあります。また、取引先のテレワークの推進等もあり、残業時間が減少しました。

請負業務は、主にIT請負の取引が拡大したことに加え、製造請負においても、受注件数が堅調に推移しました。

これらの結果、技術者派遣事業の売上高は4,271,679千円（対前年同期比0.7%減）、セグメント利益は183,671千円（対前年同期比49.5%減）となりました。

② コンサルティング事業

システムコンサルティングサービスは、SAPをはじめとした既存の大規模基幹システムにおいてIT基盤の統合・再構築が企業の重要課題とされ、機能拡張やグローバル展開案件が継続して堅調に推移しました。このような中、当社が携わるクラウド系基幹システムであるSAP S/4 HANAを中心に拡大傾向となりました。こうした案件状況に対して、その需要に応えるべく、自社ITコンサルタントの育成及び増員に加えて協力会社の外注要員を活用し、チーム体制での対応を推進いたしました。

これらの結果、コンサルティング事業の売上高は302,892千円（対前年同期比22.8%増）、セグメント利益は33,049千円（対前年同期比40.0%増）となりました。

③ AR/VR事業

AR/VR事業は、AR（拡張現実）、VR（仮想現実）と言われる第4次産業革命に対応する取り組みとして、AR/VRクリエイターの育成、企業や教育機関が求めるAR/VRコンテンツやプラットフォームの販売及び開発等を目的に事業を行っており、VR動画の制作を中心に受注を獲得しました。また、2019年4月に設立した株式会社クロスリアリティ（連結子会社）において、2020年10月にVRIA京都（VRイノベーションアカデミー京都）が開校いたしました。一方で、AR/VRコンテンツの受注を獲得するべく、人件費及び設備投資費用が発生しました。

これらの結果、AR/VR事業の売上高は22,677千円（前年同期は実績無）、セグメント損失は118,705千円（前年同期は13,467千円の損失）となりました。

④ その他

AIマッチングソリューション「SUZAKU」を中心としたHAIQ事業は、契約更新及び新規受注を獲得し、前年同期比で増収増益となりました。

障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく特例子会社である株式会社ストーンフリーの売上高は、就労移行

支援事業の利用者が増加したこと等により、前年同期比で増加しました。

AI関連の取り組みを目的とするSUS Labは、受注を獲得しました。

これらの結果、売上高は61,293千円（対前年同期比99.5%増）、セグメント利益は660千円（前年同期は33,274千円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は4,005,282千円となり、前連結会計年度末より27,096千円の増加となりました。流動資産合計は3,322,084千円となり、前連結会計年度末より95,296千円の増加となりました。これは未収入金を含むその他流動資産が89,655千円減少した一方、現金及び預金が62,794千円増加、売掛金が124,976千円増加したことによるものであります。固定資産合計は683,198千円となり、前連結会計年度末より68,200千円の減少となりました。これは主に有形固定資産が33,961千円減少、長期前払費用を含む投資その他の資産が29,968千円減少したことによるものであります。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,352,802千円となり、前連結会計年度末より153,257千円の減少となりました。流動負債合計は1,304,998千円となり、前連結会計年度末より142,926千円の減少となりました。これは主に未払消費税等を含むその他流動負債が136,407千円減少したことによるものであります。固定負債合計は47,803千円となり、前連結会計年度末より10,330千円の減少となりました。これは主にリース債務が8,541千円減少したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,652,480千円となり、前連結会計年度末より180,353千円の増加となりました。これは主に配当実施の一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が193,058千円増加したことによるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ62,791千円増加し、1,856,901千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、149,934千円の増加（前年同期は191,440千円の増加）となりました。資金の増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益378,827千円の計上によるものであります。資金の減少の主な要因は、売上債権の増加124,976千円、未払消費税等の減少154,071千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、20,107千円の減少（前年同期は204,159千円の減少）となりました。資金の減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出12,999千円、無形固定資産の取得による支出10,539千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、67,035千円の減少（前年同期は242,463千円の減少）となりました。資金の減少の主な要因は、配当金の支払額61,269千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、2020年11月13日に公表いたしました予想値から変更はありません。

今後の新型コロナウイルス感染症の影響度が極めて不透明であり、当社業績への影響を合理的な数値で予測することが困難であること、販売費及び一般管理費において下期以降に費用発生ウェイトを高く見込んでいること等によ

り、通期の連結業績予想の修正は行わない判断といたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響は、2021年9月期は継続するものの下期以降段階的に回復する、という前提のもと、2021年9月期の通期業績予想を作成しておりますが、今後、各種情報収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,932,485	1,995,280
売掛金	1,068,500	1,193,477
仕掛品	8,387	6,022
その他	217,447	127,792
貸倒引当金	△34	△487
流動資産合計	3,226,787	3,322,084
固定資産		
有形固定資産	249,512	215,550
無形固定資産	136,603	132,333
投資その他の資産	365,282	335,313
固定資産合計	751,398	683,198
資産合計	3,978,186	4,005,282
負債の部		
流動負債		
未払金	607,662	580,781
未払法人税等	132,729	146,986
賞与引当金	261,141	267,246
その他	446,392	309,984
流動負債合計	1,447,925	1,304,998
固定負債		
リース債務	26,235	17,693
資産除去債務	23,381	23,407
その他	8,517	6,702
固定負債合計	58,134	47,803
負債合計	1,506,059	1,352,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	430,433	431,063
資本剰余金	526,078	526,708
利益剰余金	1,433,146	1,626,204
自己株式	△184	△184
株主資本合計	2,389,473	2,583,792
非支配株主持分	82,652	68,688
純資産合計	2,472,126	2,652,480
負債純資産合計	3,978,186	4,005,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	4,578,450	4,658,543
売上原価	3,289,590	3,669,295
売上総利益	1,288,860	989,247
販売費及び一般管理費	948,390	890,571
営業利益	340,469	98,676
営業外収益		
受取利息	16	13
助成金収入	2,430	285,431
その他	86	11,043
営業外収益合計	2,533	296,489
営業外費用		
支払利息	1,014	3,717
支払手数料	1,112	12,391
その他	1	40
営業外費用合計	2,128	16,149
経常利益	340,874	379,015
特別損失		
固定資産除却損	—	188
特別損失合計	—	188
税金等調整前四半期純利益	340,874	378,827
法人税、住民税及び事業税	136,370	127,499
法人税等調整額	△8,787	10,744
法人税等合計	127,583	138,244
四半期純利益	213,291	240,583
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,546	△13,964
親会社株主に帰属する四半期純利益	217,838	254,547

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	213,291	240,583
四半期包括利益	213,291	240,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	217,838	254,547
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,546	△13,964

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	340,874	378,827
減価償却費	16,149	57,221
助成金収入	△2,430	△285,431
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	453
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,182	6,104
受取利息及び受取配当金	△16	△13
支払利息	1,014	3,717
固定資産除売却損益 (△は益)	—	188
売上債権の増減額 (△は増加)	△91,758	△124,976
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10,095	2,365
未払金の増減額 (△は減少)	6,926	△22,740
未払消費税等の増減額 (△は減少)	58,208	△154,071
その他	△99,178	45,318
小計	262,073	△93,035
利息及び配当金の受取額	13	11
利息の支払額	△977	△3,717
法人税等の支払額	△72,098	△114,250
助成金の受取額	2,430	360,926
営業活動によるキャッシュ・フロー	191,440	149,934
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38,917	△12,999
無形固定資産の取得による支出	△106,058	△10,539
差入保証金の差入による支出	△59,857	△117
その他	674	3,548
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204,159	△20,107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△215,430	—
長期借入金の返済による支出	△54,698	—
非支配株主からの払込みによる収入	88,887	—
配当金の支払額	△61,092	△61,269
その他	△129	△5,765
財務活動によるキャッシュ・フロー	△242,463	△67,035
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△255,181	62,791
現金及び現金同等物の期首残高	2,033,603	1,794,109
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,778,421	1,856,901

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	技術者派遣 事業	コンサル テイング 事業	AR/VR事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,301,049	246,680	—	4,547,730	30,720	4,578,450
計	4,301,049	246,680	—	4,547,730	30,720	4,578,450
セグメント利益又は損失(△)	363,607	23,604	△13,467	373,744	△33,274	340,469

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	技術者派遣 事業	コンサル テイング 事業	AR/VR事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,271,679	302,892	22,677	4,597,249	61,293	4,658,543
計	4,271,679	302,892	22,677	4,597,249	61,293	4,658,543
セグメント利益又は損失(△)	183,671	33,049	△118,705	98,015	660	98,676

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「AR/VR事業」について量的重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。